

1 はじめに

日高等学校の学校教育目標は、「心豊かに健やかで、たくましく行動できる生徒の育成」としており、本年度の組織目標として、「確かな学力、健やかな心と体、社会の変化への対応」が柱となっている。

これらの背景を踏まえ、今年度は、道德科の授業と関連させながら特別活動を行った。

2 資料

(1) 校則の見直し

今年度の生徒会で、一番力を入れた内容が校則の改正である。近年では、時代に適さない校則も少なくないことから、生徒会主体で実施した。まずは生徒の感じる現在の校則について、疑問や要望を知るためにアンケートを実施した。次に、生徒からの疑問や要望を生徒総会での議題とし、生徒一人一人が考えを巡らし、学校全体で話し合いを進めることができた。その結果、多くの校則が改正され、試行期間を経て今年度から施行されることとなった。



【生徒総会の様子】

(2) 朝の校歌運動

日高中では、例年であれば、学校行事や集会時に校歌を歌う機会がある。しかし、現在は歌う機会が授業のみで、校歌に対する気持ちが離れてきていると感じる。生徒会役員の中から、歌う機会が少ないことも原因の一つであるという意見があり、「校歌を身近に感じてもらおう」と、毎朝の登校時間に放送による校歌を流すことにした。生徒会本部役員からは、「校歌」という存在が生徒に身近なものとなるよう、今後も多様な取組を考えていきたいという意見が出ていた。

(3) いじめZEROフォーラムの実施

「自分や他者の気持ちを大切にできる思いやりのある生徒の育成」に向け、日高中では今年度、縦割り班でのいじめZEROフォーラムを実施した。全校をあげて「いじめZERO宣言」を考えたり、思いやりの木を作成したりすることで、いじめを許さない気持ちを育むことができた。



【縦割りでいじめZERO宣言】

3 成果と課題

- (1) 校則の見直しでは、今年度複数の校則が改正されたが、いまだに生徒の実態に沿わないものも見られる。生徒が充実した学校生活が送れるように今後もさらに検討をしていく必要がある。
- (2) 朝の校歌運動により、自然と校歌に愛着をもてるようになってきている。
- (3) いじめZEROフォーラムでは、いじめの未然防止に効果があった。1回のみの実施であったので、学期ごとに開催できるとより効果的であると感じた。